

# えるのあ

2012  
1 Jan  
No. 40

## 北海道立女性プラザだより

### 目次

- 女性プラザ祭2011講演会の報告… 1
- 女性プラザ祭2011レポート…………… 2
- インフォメーション…………… 4

## 女性プラザ祭2011講演会の報告

### 「わたしが一番きれいだったとき

### わたしの国は戦争をしていた —昭和20年夏、私たちの戦争—

ノンフィクション作家 梯 久美子 さん

女性プラザは、昨年満20年のアニバーサリー・イヤーを迎え、「女性プラザ祭2011講演会」は、11月15日にかでる1階のホールを会場に、ノンフィクション作家の梯久美子さんをお招きして開催しました。

梯さんは、大宅壮一ノンフィクション賞を受賞された単行本デビュー作の『散るぞ悲しき 硫黄島総指揮官・栗林忠道』（新潮社）をはじめ、戦争を題材にした作品にも取り組んでこられました。

今回の講演では、女性と戦争について取材した『昭和二十年夏、私たちの戦争』（角川書店）を中心に、いろいろなエピソードを交えながらお話をいただきました。

この作品について、梯さんは、「今までの戦争をテーマにした小説や映画は、兵士の母や妻、あるいは娘としての女性像がほとんどです。けれども私は母でも妻でも娘でもなく、一人の若い女性としてあの時代を生きた人の声を聞きたいと思い、当時10代後半から20代半ばだった女性たちについてインタ



ビューをしました。NHKアナウンサーだった近藤富枝さんや速記者だった吉沢久子さん、学生だった緒方貞子さんや吉武輝子さんなどが語ったあざやかなエピソードを通してどんな時代であっても、誰にも奪うことのできない青春のきらめきを知り、あらためて、戦争の残酷さが胸に迫りました。」と紹介されました。



また、「戦時中の女性たちは、つらく苦しい時代であっても、恋愛をしたり、おしゃれをしたり、現代の女性と変わらないごく普通の10代、20代の女性でした。戦争は遠い昔のことではなく、今の時代と地続きであることをあらためて感じさせられました。」と話され、女性の視点から、新鮮なものの見方によって、戦争やその時代に生きた人のことを伝えていくことの大切さをお話しされ、聴衆の皆さんも様々な想いを共有した充実したひと時でした。

講演終了後には、梯さんのサイン会も開催され、こちらも大変盛況でした。

来年度の女性プラザ祭メイン事業は、  
平成24年11月15日（木）開催の予定です。

発行／北海道立女性プラザ（指定管理者：財団法人北海道女性協会）

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7 6階 (011)251-6329・6349

【ホームページアドレス】 <http://www.l-north.jp/>

（休館日：日曜・祝日・年末年始）（開館時間：月～金9:00～21:00、土9:00～17:00）\*お問い合わせは9:00～17:00にお願いします。





# 女性プラザ祭2011レポート

昨年11月14日～19日に女性プラザ開館記念事業として開催した「女性プラザ祭」には、全道各地域から延べ1,000人以上の方にご参加いただきました。

今回は東日本大震災の教訓から学びそして支援しようと、防災をテーマにした活動報告会、女性セミナー、シンポジウムの企画がありましたが、国の第3次男女共同参画基本計画の重点分野として第14分野に地域、防災・環境その他の分野における男女共同参画の推進が盛り込まれており、大変有意義な内容だったと思います。

また、女性プラザ交流事業の目玉「女も男もワイワイセッション」では超高齢社会をキーワードに、シニアライフについて、豊かな高齢社会の仲間づくりと役割づくりに取り組む団体と、社会で孤立しがちな男性介護者とその支援者をつなぐ活動を行う団体に報告していただきました。

以下に、この内容の一部をご紹介します。

## 女も男もワイワイセッション

### 豊かなシニア人生のために

#### NPO法人シーズネット

報告者：水梨静子さん・大林登美子さん



シーズネットは子育てや仕事が終わった後の20～30年の人生を楽しく、豊かに過ごす為に、老後人生を主体的に生きる方法を「仲間づくり」と「役割づくり」の中で実践しながら追求していこうという団体です。

「仲間づくり」には・歩こう会・映画を観る会・シーズネット合唱団・たべものクラブなど現在29のサークル活動があり、日曜祝日以外はほとんど何かの活動が行われています。私は初心者麻雀を楽しむ会でお世話係をしていますが、「お金を賭けない」「たばこを吸わない」「遅くても怒らない」をルールに勝っても負けても和気あいあいと、ゲーム終了後はお茶とお菓子でおしゃべりを楽しんでいます。

「役割づくり」では、生活支援事業として地域社会とのつながりを大切に高齢者の住まいの相談や札幌市を中心に住まいの情報誌を作成、販売しています。また札幌市の委託事業として平成19年には、孤立死ゼロ推進センターを開設。相談業務・出前講座・シンポジウムの開催などを行っています。

また、地域交流サロン事業として、いつでも気軽に集まれる拠点作り「サロンこのはな」「サロン麻生」を開設。地域住民を対象に小物づくり、料理・パソコン講習などの活動を行っています。

私どもの活動は横型の人と人の交流が基本にあり、会員数は10月現在890名そのうち女性は3分の2。平均

年齢70歳、最高年齢94歳男性、シーズネットは今年10周年を迎えました。

私自身は10年前に夫を失い、孤独から悲しさからどう立ち直ったらよいかわからなくて、でもある方から「孤独の裏返しは自由がある」と聞き、それから元気になりました。今はシーズネットで活動を続けられ、本当に良かったと思っています。

### 男性介護のリアリティー

#### 北海道男性介護者と支援者のつどい

報告書：副代表 大島康雄さん、大橋二三子さん  
事務局長 小番一弘さん



日本の高齢化率は世界一で、総人口の21%が65歳以上ですが、これからまだ高くなります。団塊の世代が80歳を過ぎる2045年には一番介護の需要が高まり、約38%の高齢化率になり、これをどうするかということで日本は世界から注目されています。

介護は生活の中でも重要な課題ですが、85歳以上は2人に1人が要介護であり、介護期間3年以上が半数を占め介護の長期化、さらに同居率の低下と単身者の増加が男性介護者の増加につながっています。

大変悲しいことですが、高齢者虐待の約6割が男性です。男性は介護のストレスを感じやすく、虐待に走る傾向があるようで、私たちはこのような状況を何とかできないかということで、この団体をつくりました。



男性の介護について調べると、男性は女性よりサービスを使うことに関する抵抗感が低く、介護サービスを使うのが上手です。また介護に対する時間が短く、力があるので身体介護は、女性よりもストレスを感じないですみます。さらに、虐待の世代間連鎖は、女性の方が高いと言う方もいます。それなら、男性の方が介護に適しているのでしょうか？しかしここからがポイントで、男性介護者は、掃除や家事などの生活スキルが乏しく、介護自体よりも調理などにストレスを感じます。今まで何もやってきていないので、妻に倒れられると介護をしつつ、家事もしなければいけない、そうすると一気に負担がきて男性は潰れてしまいます。また、認知症などの対応にストレスを感じやすい。男性は頭が固い人が多く、悲観して心中や殺人を起こしやすい。心中や殺人の加害者は8割が男性。男性介護者は悩みを内在化しやすく、誰かに相談するなど表面にだすのが苦手です。

まとめですが、男性介護者の会では、定期的に集まったの情報交換やネットワークづくりを行っています。具体的には男性は、家事に対してストレスを抱えることが多いので、ご飯をつくる料理教室を開いたり、お茶会やお酒を入れて、話をしたりしています。男性には男性の介護の特徴があるということを理解していただき、男性の特徴に合わせた支援を考え、孤独感を持つ介護者の支援者として、女性も参加できますので、ぜひ皆さんのご支援、ご協力を頂ければと思います。

最後にコーディネーターの笹谷春美館長から、

「今日は超高齢社会ということ 키워ドにどう生きるかを考える報告でした。介護の問題は大変ですが、そこから人間として大切なことを学びます。介護という経験をいつ私たちがするようになるか、されるようになるかわからない、みんなに関係した問題です。ある意味では今まで介護から逃れられていた男性も介護をするのは当たり前になります。介護は介護をする人とされる人が一番良い状況を作るために、一人で抱え込まないで、専門家に助けを求め色々な資源を使うという、新しい介護能力を身につけていくことが必要であろうと思います。介護のために仕事を辞めざるをえない方が急速に増えており、介護と仕事の両立を企業も社会も考えていかなければいけないときです。介護で自殺、暮らしていけなくなるという犠牲者がでない社会にしなければいけないと思います。」

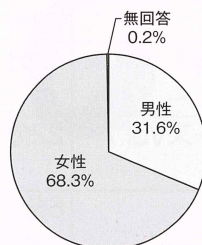
という言葉でワイワイセッションが終了しました。



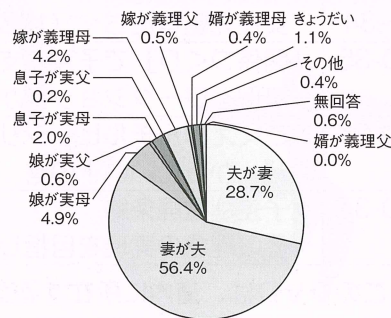
## 平成23年度作成パネル「高齢社会～男女～の状況」から一部紹介しています。

このパネルは地域での啓発活動に貸出も行っていきます。

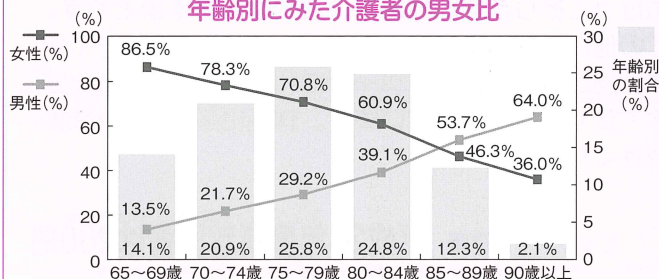
### 介護者の性別



### 介護者と非介護者の関係



### 年齢別にみた介護者の男女比



### 介護者が負担に感じている内容（複数回答、上位5つ）

自身の健康	53.5%
介護疲れのストレス	45.3%
自分の時間がない	39.5%
睡眠不足	26.9%
入浴介助	23.3%

### 負担に感じること（その他）自由記述より（上位3つ）

家事	15.7%
排泄介助	12.7%
介助方法がわからない	9.8%

高齢社会における介護を男女平等参画社会という視点で考えると、家事労働への男性の参画の重要性が浮かび上がります。この資料は社会福祉法人北海道社会福祉協議会（老々介護実態調査事業委員会）「高齢者が高齢者を介護する老老介護実態調査」（平成22年）出典ですが、この中で介護負担の内容（自由記述「その他」）を整理した報告として、「家事」15.7%が一番負担であると回答されており、特に男性は掃除や家事などの生活スキルが乏しいことが介護者になった時の大きな負担になっているということが、今回のワイワイセッションの報告を裏付けているようです。



# インフォメーション

## 情報提供フロアより 新着DVDソフトのご紹介

番号	タイトル	時間
D-24	産休・育休ガイドシリーズ ③産休・育休への対応と男性の育休	35分
D-25 ～34	Women Pioneers ー女性先駆者たちー (10枚)	各 30分
D-35	「関係づくり」で子育て支援！ ～事例とワークショップから～	45分
D-36	うごくえほんチルビーシリーズVol.7 パパ、かっこいい！の巻	22分
D-37	女子差別撤廃条約 ～その理念の実現を目指して～	6分

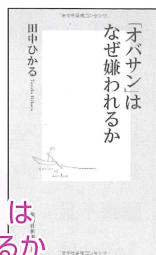
このDVDは、道内に所在する女性団体・グループ等が、無料で研修会・学習会等に使用する場合に貸出も行っております。貸出は2週間以内2本までです。この他にも貸し出しできるビデオ・DVDがございます。当プラザのホームページに利用方法及び貸出ビデオ・DVDを掲載しています。詳細についてはお問い合わせください。

## ピックアップ書籍 平成23年度新着図書は200冊



### 地震から子どもを守る50の方法

国崎 信江 著  
ブロンズ新社



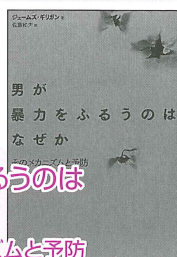
### 「オバサン」はなぜ嫌われるか

田中 ひかる 著  
集英社新書



### 恋愛経済学

勝間 和代 著  
扶桑社



### 男が暴力をふるうのはなぜか そのメカニズムと予防

ジェームズ・ギリガン 著  
大月書店

男女平等参画に関する図書で、女性プラザに置いて欲しい本がございましたら、情報提供フロアに設置してあるご意見箱でお知らせください。

### ボランティアビューローコスモス

女性プラザ祭のバザーによる収益金などから、日本赤十字社北海道支部に東日本大震災義援金として10万円を寄付しました。

## 子育てファミリー集まれ!!

日時 平成24年2月25日(土)  
10:00～12:00

会場 かでる2・7

(札幌市中央区北2西7)

6階 北海道立女性プラザ、10階 1050会議室

対象 未就学の子どもがいるファミリー

### お父さんは

#### ●「お父さんの子育て応援講座」

10:00～12:00

全国の子育て中のお父さんが登場するVTRや、オリジナルのワークボードを使ったグループワークなどを通して、父親の役割や仕事と子育てについて考える、子育て中のお父さんのための講座です。

(女性プラザと北海道の共催事業)

### お母さんと子どもは

#### ●「遊びの広場～お母さんといっしょ！」

10:00～

良質な木製おもちゃなどを使って専門のスタッフが遊びをサポート。絵本を読んだり、わらべ唄を歌ったり、人形劇も！お母さん同士も情報交換ができ、スタッフが子育ての悩みにアドバイスをします。

11:30～

お勉強しているお父さんのために、お菓子を作っちゃおうぞ！（おみやげも）

### ファミリーで（自由参加）

#### ●「親子でほっとタイム！」（12:00～）

イベント終了後は、お父さんもいっしょにほっとタイム！みんなでお弁当をひろげたり、作ったお菓子をつまんだり！

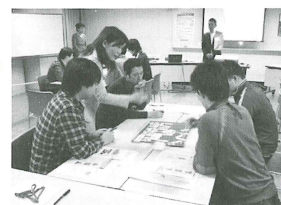
参加料 無料

定員 ファミリー20組（先着順）

申込 事前に電話でお申込ください。

受付開始 1月30日（月）～

(昨年の様子から)



お父さん講座



遊びの広場

●「えるのす」「道立女性プラザ」に対するご意見、ご感想、ご要望などをお寄せください。

●「えるのす」は女性(Lady)の頭文字と北(North)の造語です。